



投資環境

2023年4月12日

IMF 世界経済見通しメモ (2023年4月)

□ 世界の成長率を 0.1%ポイント引き下げ

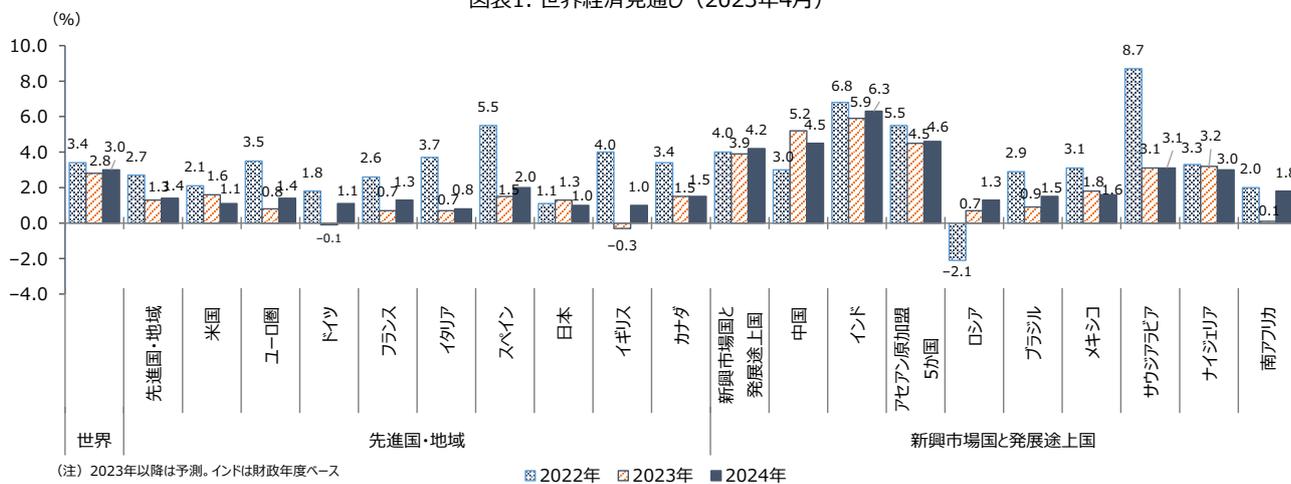
国際通貨基金 (IMF) は 4 月 11 日、最新の経済見通しを発表しました。世界経済の成長率は今年 2.8%まで低迷した後、来年には 3%まで緩やかに加速すると予測しています。1 月の予測からは 0.1%ポイント引き下げられました (図表 1、2)。新型コロナウイルス感染症のパンデミック (世界的大流行) とロシアのウクライナ侵攻双方の影響を受けた世界経済は、引き続き回復基調で、中国の経済再開を受けた回復は堅調としています。

世界のインフレ率については、昨年の 8.7%から今年は 7%、2024 年には 4.9%へと、当初予想よりも遅いペースではあるものの鈍化していくとしています。また、大半の中央銀行が一斉に大規模な金融引締めを進めていることの成果が表れ始めるとみられ、物価上昇率は徐々に目標水準に戻ると見込んでいます。

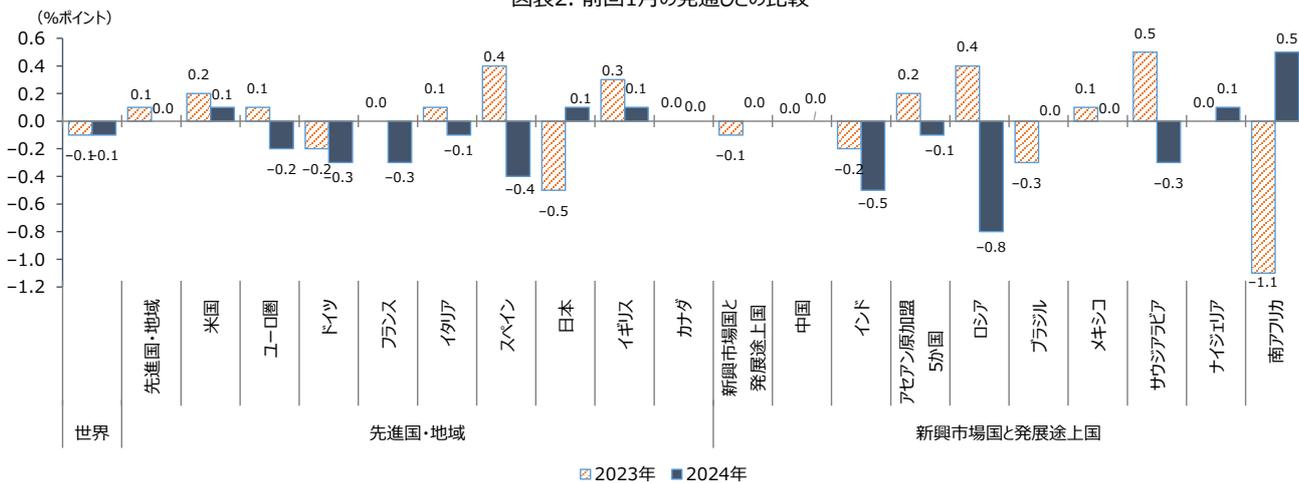
□ 米国、ユーロ圏は上方修正、日本は下方修正

米国の今年の成長率は 1.6%、ユーロ圏は 0.8%とそれぞれ 0.2、0.1%ポイント上方修正しました。欧州の低成長は変わらずでしたが、英国に加えてドイツもマイナス予測になりました。日本は 1.3%と、0.5%ポイントの下方修正となりました。中国については 5.2%で据え置き、新興国は 0.1%ポイント低

図表1. 世界経済見通し (2023年4月)



図表2. 前回1月の見通しとの比較





しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

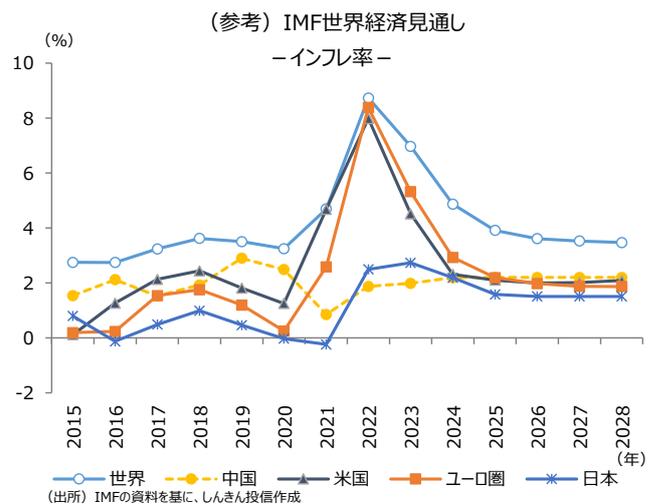
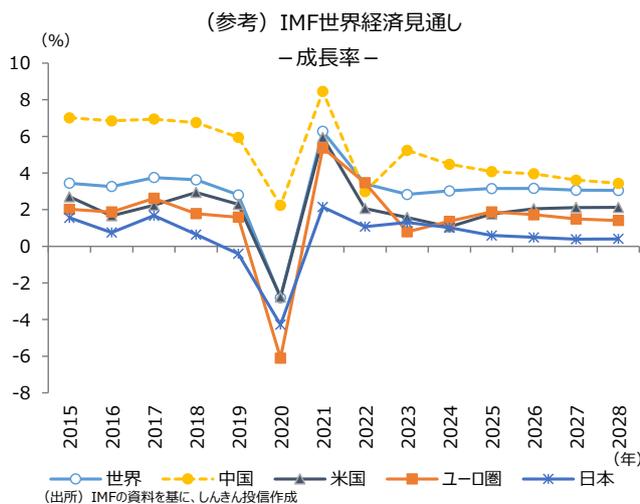
い 3.9%になりました。ウクライナ侵略で欧米から制裁を受けているロシアは、石油などの輸出収入が堅調で0.4%ポイント引き上げ、0.7%としました。

回 ハードランディングとなる確率が大幅に上昇

見通しへのリスクは下振れ方向に大きく傾いており、ハードランディング(硬着陸)となる確率が大幅に上昇したとしており、以下のリスクを挙げています。

- 金融システム不安が増幅したり、それが多方面へ波及したりする可能性
- ウクライナでの戦争が激化し、食料とエネルギー価格がまた急上昇することで物価上昇圧力がかかる
- 変動の激しいエネルギーと食品を除くコアインフレ率が予想以上に長い間高止まりし、金融政策を一段と引き締める
- 地政学的に世界経済のブロック化が進むと、対外直接投資への影響を通じて、生産高の大幅な損失につながる

今回の見通しは、最近見られた金融システム不安が拡大しないことを前提とするベースライン予測であり、米欧でくすぶる金融不安が再燃すれば、世界の成長率はさらに2.5%まで低下するとしています。



(シニアストラテジスト 鈴木和仁)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。